

《校是》「琢磨」
知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材トシ

【学校教育目標】

1. 勉強だいすき、かしこい子ども
2. 心やさしく、正しい子ども
3. 進んで行動、やりぬく子ども
4. みんなでスポーツ、きたえる子ども

めざす学校像

- (1) 確かな授業を創造する学校
- (2) 特別支援教育の視点を大切にされた教育活動を進める学校
- (3) 「いのちの教育」を推進する学校
- (4) 教師が学び合い、学び続ける学校
- (5) 保護者・地域から信頼される学校
- (6) 保・小・中の連携を推進する学校

「生きる力」確かな学力・豊かな心・健やかな体
知・徳・体が調和し、「いのち」輝く人間の育成
学び、集い、笑顔輝く白鷹人

経営の方針

校是「琢磨」を基本理念に、学習指導要領、第6次山形県教育振興計画、第5次白鷹町総合計画後期基本計画を踏まえ、全職員の英知を結集し、組織として「生きる力」の育成につなぐ特色ある学校づくりを推進する。

- た 高めあう、楽しい学校
- く くじけない子ども
- ま 学ぶことをやめない教師

28年度スローガン

かしこく つよく えがお輝く たくまっ子

- ◇危機管理意識の浸透した、安心・安全な教育活動
- ◇生徒指導の機能が生きる、温かな学級経営

重点1
考える力の育成
【まなびと表現】

- (1) ユニバーサルデザインの視点を大事にし、基礎・基本の定着を図る。
◇学習の興味・関心を高める工夫
◇「めあて」「発問」「振り返り」が位置付いた授業の推進
◇「焦点化」「視覚化」「共有化」した授業の工夫
◇個に応じた指導の推進
◇家庭学習の習慣化
- (2) 交流する場を創り、表現する力を高める。
◇理由・根拠のある説明や論述の重視
◇聞き、受けとめ、返す伝え合いの工夫
◇ねらいと形態を明確にした交流する場の充実
- (3) 協働的な学びを充実させ、考える力を育てる。
◇ねらいに最適な言語活動の充実
◇必要感と変容のある学び合いの推進
◇単元全体を見通した指導の工夫
- (4) 読書活動を推進し、表現力や想像力を豊かにする。
◇主体的な読者を育てる朝読書等の推進
◇授業に活かせる図書室の充実
◇家庭読書の推進

重点2
つながる力の育成
【いのちと自尊感情】

- (1) 「いのちの教育」を基盤に、自他を大切に
する心を育む。
◇あいさつの心と行動を高める活動の推進
◇思いやりの心を高める関わり合う場の工夫
◇生命尊重の教育活動の重視
- (2) 魅力ある学級づくりを進め、自己存在感や
人間関係形成能力を高める。
◇生徒指導の機能を活かした集団づくりの推進
◇いじめの未然防止、早期対応の推進
◇特別支援教育の視点での指導・支援の重視
◇子ども理解と教育相談の推進
- (3) 子ども主体の活動を進め、自己指導力を育
てる。
◇協力と創意ある児童会活動の推進
◇子どもの発意・発想が活きる活動の工夫
◇規範意識を高める生活や活動の充実

重点3
たくましい身体の育成
【からだと自りつ】

- (1) 健康教育を推進し、健康を保持増進する実
践力を高める。
◇アウトメディア等の生活リズムの確立とセルフ
コントロール力の育成
◇食育や命の学習の推進
◇家庭への啓発と連携
- (2) 安全教育と安全管理を充実させ、危険予測
・危険回避能力を高める。
◇「生活・交通・災害」安全教育の充実
◇危機管理マニュアルの点検と活用
◇家庭・地域・関係機関との連携による安全環
境体制の整備
- (3) 体育授業の充実と体力づくりの推進を図り、
体力・運動能力の向上を図る。
◇特性と系統性を踏まえた授業の工夫改善
◇課題を捉えた朝運動の推進
◇外遊びや運動の習慣化

明治4年	荒砥郷校開校
明治5年	学制公布 石那田小学校と改称
明治6年	大瀬小学校開校
明治11年	大瀬小学校合併（大瀬分校）
明治13年	十王小学校創立 貝生小学校開校 下山分校設立
明治40年	校訓制定 学校文集「琢磨」第1号発行
大正3年	荒砥尋常高等小学校と改称 貝生・下山・大瀬分教場設置
昭和8年	荒砥小学校校歌制定
昭和13年	荒砥小学校校旗樹立
昭和16年	荒砥町国民学校と改称
昭和22年	荒砥町立荒砥小学校と改称
昭和29年	白鷹町誕生 白鷹町立荒砥小学校と改称
昭和32年	大瀬分校新築
昭和33年	完全給食実施 調理室新築 県指定道徳教育研究発表
昭和38年	荒砥小学校校章制定 十王小学校校歌制定
昭和39年	荒砥小学校現校旗樹立
昭和42年	下山分校閉校（43. 3. 31）
昭和46年	荒砥小学校創立100周年
昭和50年	県健康優良校表彰 県教委研究委嘱（算数科）
昭和51年	県教委委嘱「算数科の実験的研究」公開発表 ことばの教室開設
昭和54年	十王小学校創立100周年 県健康優良校表彰 子ども県展受賞
昭和55年	県健康優良校表彰 子ども県展受賞
昭和56年	県健康優良校受賞
昭和58年	荒砥小学校新校舎起工式 宮城県荒砥小学校交流
昭和59年	大瀬分校閉校（59. 8. 31）新校舎竣工・開校式（59. 9. 1）
昭和60年	体育館落成 環境緑化事業桜植樹
昭和61年	プール竣工
昭和62年	文部省指定教育課程研究（国語科）中間検討会 遊具設置
昭和63年	文部省指定教育課程研究（国語科）公開発表会 観察園完成
平成元年	十王小学校創立110周年 特別支援教室棟完成 自主公開研究会
平成3年	荒砥小学校創立120周年（琢磨学校碑移転・たくまっ子広場完成）
平成4年	十王小学校文部省指定「おし歯予防推進指定校」研究発表会
平成5年	県教育センター「環境教育」研究協力校
平成6年	地域環境ソフト・マップ作成 全国小学生陸上走り幅跳び4位入賞
平成7年	みどりの広場完成 県特殊教育研究大会授業公開
平成8年	優良PTA県教育委員会表彰
平成10年	荒砥小学校・十王小学校統合 校歌披露 統合記念除幕
平成12年	子ども県展受賞賞 「小さな親切」実行賞受賞
平成14年	県健康推進学校最優秀校受賞 食農教育推進校
平成16年	文科省指定キャリア教育推進校（～平成18年）
平成17年	文科省指定学力向上拠点形成事業推進校（～平成19年）
平成19年	文科省指定学力向上拠点形成事業発表会 小さな親切作文文大臣奨励賞受賞
平成20年	白鷹町社会福祉協議会指定福祉教育推進校（～平成21年）
平成22年	白鷹町指定環境教育推進校
平成23年	創立140周年
平成24年	県交通安全対策協議会交通安全功労者表彰
平成25年	町防災訓練
平成26年	プール改修工事
平成27年	荒砥小学校・鷹山小学校統合



考える力の育成



つながる力の育成



たくましい身体の育成



いのちを支えるPTAと地域

《校是》「琢磨」
知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材トシ

「生きる力」確かな学力・豊かな心・健やかな体
知・徳・体が調和し、「いのち」輝く人間の育成
学び、集い、笑顔輝く白鷹人

【学校教育目標】

1. 勉強だいすき、かしこい子ども
2. 心やさしく、正しい子ども
3. 進んで行動、やりぬく子ども
4. みんなでスポーツ、きたえる子ども

経営の方針

校是「琢磨」を基本理念に、学習指導要領、第6次山形県教育振興計画、第5次白鷹町総合計画後期基本計画を踏まえ、全職員の英知を結集し、組織として「生きる力」の育成につなぐ特色ある学校づくりを推進する。

- た 高めあう、楽しい学校
- く くじけない子ども
- ま 学ぶことをやめない教師

めざす学校像

- (1) 確かな授業を創造する学校
- (2) 特別支援教育の視点を大切にされた教育活動を進める学校
- (3) 「いのちの教育」を推進する学校
- (4) 教師が学び合い、学び続ける学校
- (5) 保護者・地域から信頼される学校
- (6) 保・小・中の連携を推進する学校

28年度スローガン

かしこく つよく えがお輝く たくまっ子

- ◇危機管理意識の浸透した、安心・安全な教育活動
- ◇生徒指導の機能が生きる、温かな学級経営

重点1
考える力の育成
【まなびと表現】

- (1) ユニバーサルデザインの視点を大事にし、基礎・基本の定着を図る。
◇学習の興味・関心を高める工夫
◇「めあて」「発問」「振り返り」が位置付いた授業の推進
◇「焦点化」「視覚化」「共有化」した授業の工夫
◇個に応じた指導の推進
◇家庭学習の習慣化
- (2) 交流する場を創り、表現する力を高める。
◇理由・根拠のある説明や論述の重視
◇聞き、受けとめ、返す伝え合いの工夫
◇ねらいと形態を明確にした交流する場の充実
- (3) 協働的な学びを充実させ、考える力を育てる。
◇ねらいに最適な言語活動の充実
◇必要感と変容のある学び合いの推進
◇単元全体を見通した指導の工夫
- (4) 読書活動を推進し、表現力や想像力を豊かにする。
◇主体的な読者を育てる朝読書等の推進
◇授業に活かせる図書室の充実
◇家庭読書の推進

重点2
つながる力の育成
【いのちと自尊感情】

- (1) 「いのちの教育」を基盤に、自他を大切に
する心を育む。
◇あいさつの心と行動を高める活動の推進
◇思いやりの心を高める関わり合う場の工夫
◇生命尊重の教育活動の重視
- (2) 魅力ある学級づくりを進め、自己存在感や
人間関係形成能力を高める。
◇生徒指導の機能を活かした集団づくりの推進
◇いじめの未然防止、早期対応の推進
◇特別支援教育の視点での指導・支援の重視
◇子ども理解と教育相談の推進
- (3) 子ども主体の活動を進め、自己指導力を育
てる。
◇協力と創意ある児童会活動の推進
◇子どもの発意・発想が活きる活動の工夫
◇規範意識を高める生活や活動の充実

重点3
たくましい身体の育成
【からだと自りつ】

- (1) 健康教育を推進し、健康を保持増進する実
践力を高める。
◇アウトメディア等の生活リズムの確立とセルフ
コントロール力の育成
◇食育や命の学習の推進
◇家庭への啓発と連携
- (2) 安全教育と安全管理を充実させ、危険予測
・危険回避能力を高める。
◇「生活・交通・災害」安全教育の充実
◇危機管理マニュアルの点検と活用
◇家庭・地域・関係機関との連携による安全環
境体制の整備
- (3) 体育授業の充実と体力づくりの推進を図り、
体力・運動能力の向上を図る。
◇特性と系統性を踏まえた授業の工夫改善
◇課題を捉えた朝運動の推進
◇外遊びや運動の習慣化

明治4年	荒砥郷校開校
明治5年	学制公布 石那田小学校と改称
明治6年	大瀬小学校開校
明治11年	大瀬小学校合併（大瀬分校）
明治13年	十王小学校創立 貝生小学校開校 下山分校設立
明治40年	校訓制定 学校文集「琢磨」第1号発行
大正3年	荒砥尋常高等小学校と改称 貝生・下山・大瀬分校設置
昭和8年	荒砥小学校校歌制定
昭和13年	荒砥小学校校旗樹立
昭和16年	荒砥町国民学校と改称
昭和22年	荒砥町立荒砥小学校と改称
昭和29年	白鷹町誕生 白鷹町立荒砥小学校と改称
昭和32年	大瀬分校新築
昭和33年	完全給食実施 調理室新築 県指定道徳教育研究発表
昭和38年	荒砥小学校校章制定 十王小学校校歌制定
昭和39年	荒砥小学校現校旗樹立
昭和42年	下山分校閉校（43. 3. 31）
昭和46年	荒砥小学校創立100周年
昭和50年	県健康優良校表彰 県教委研究委嘱（算数科）
昭和51年	県教委委嘱「算数科の実験的研究」公開発表 ことばの教室開設
昭和54年	十王小学校創立100周年 県健康優良校表彰 子ども県展受賞
昭和55年	県健康優良校表彰 子ども県展受賞
昭和56年	県健康優良校受賞
昭和58年	荒砥小学校新校舎起工式 宮城県荒砥小学校交流
昭和59年	大瀬分校閉校（59. 8. 31）新校舎竣工・開校式（59. 9. 1）
昭和60年	体育館落成 環境緑化事業桜植樹
昭和61年	プール竣工
昭和62年	文部省指定教育課程研究（国語科）中間検討会 遊具設置
昭和63年	文部省指定教育課程研究（国語科）公開発表会 観察園完成
平成元年	十王小学校創立110周年 特別支援教室棟完成 自主公開研究会
平成3年	荒砥小学校創立120周年（琢磨学校碑移転・たくまっ子広場完成）
平成4年	十王小学校文部省指定「むし歯予防推進指定校」研究発表会
平成5年	県教育センター「環境教育」研究協力校
平成6年	地域環境ソフト・マップ作成 全国小学生陸上走り幅跳び4位入賞
平成7年	みどりの広場完成 県特殊教育研究大会授業公開
平成8年	優良PTA県教育委員会表彰
平成10年	荒砥小学校・十王小学校統合 校歌披露 統合記念除幕
平成12年	子ども県展受賞 「小さな親切」実行賞受賞
平成14年	県健康推進学校最優秀校受賞 食農教育推進校
平成16年	文科省指定キャリア教育推進校（～平成18年）
平成17年	文科省指定学力向上拠点形成事業推進校（～平成19年）
平成19年	文科省指定学力向上拠点形成事業発表会 小さな親切作文文大臣奨励賞受賞
平成20年	白鷹町社会福祉協議会指定福祉教育推進校（～平成21年）
平成22年	白鷹町指定環境教育推進校
平成23年	創立140周年
平成24年	県交通安全対策協議会交通安全功労者表彰
平成25年	町防災訓練
平成26年	プール改修工事
平成27年	荒砥小学校・鷹山小学校統合



考える力の育成



つながる力の育成



たくましい身体の育成



いのちを支えるPTAと地域